

「家庭科」学習指導案

1. 日時 平成26年 9 月
2. 場所 展開教室
3. 学部・学年・組 中学部 第1学年
4. 単元名 「かごの装飾」

5. 単元目標

- ・集中して課題に取り組むことができる。
- ・一つの作業を持続する力を身につける。
- ・作業手順を理解し、毛糸を上下交互に隣の穴に通すことができる。

6. 生徒観 略

7. 教材観

本教材では、側面にいくつもの穴の開いたプラスチック製のかごの穴に毛糸を通して装飾していく作業に取り組む。かごはA4サイズの大きさのプラスチック製のかごを選んだ。このかごを選んだ理由は、大きくて固く、土台がしっかりしているのでこのグループの生徒にとって扱いやすいと考えたからである。また、穴の数がなるべく多いものを選んだ理由は、長期にわたって取り組むことにより生徒たちに持続力をつけてほしいと考えたからである。

この「かごの装飾」をしていくことを念頭に置き、前段階としてネットに毛糸を通してコースターの製作に取り組んできた。それを発展させたものが、今回の教材である。

あらかじめ一定の長さに切っておいた毛糸の先を、穴を飛ばすことなく確実に隣の穴をめざして上下交互に通していく。これらの作業は手指の巧緻性を高め、同時に集中力と根気を必要とする作業である。

一方、個々にデザインを工夫しやすい教材である。段ごとに毛糸の配色を変え、毛糸の方向を変える（横・縦・グルグル巻きのようにするなど）ことによって個性を出すことができる。このグループでは複雑なデザインに取り組むことに課題があると思われるので、縦・横の変化をつけることで個性あふれる作品になり、作業が進むにつれ出来上がっていく喜びを感じとれる作品となる。

8. 指導観

中学部3年間で針を持って運針をする学習内容に展開していくことをめざしているが、この1年間は「運針」に向けて、運針に似た手の動きをするネット刺しを基本として取り組んでいくことをねらいとしている。

この学習過程において、自分で好きな毛糸の色を選び、段によって色を変えていくなど、創意工夫しやすいので各自個性を出すことができる。最初に自分なりにデザインを考えてから取り組むことにより、イメージをつかみ、期待感を持たせ、主体的に取り組む力を身につけさせたい。

この作品はできあがっていく様子が視覚的にわかるので、自分で確認していきながら、作品ができあがっていく喜びとできあがった時の達成感を味わわせたい。

また、自立活動におけるねらいとして以下の3つが挙げられる。

- ① 初めての作業に対する不安感を持つ生徒にとっては、単純な作業を繰り返していく作業に時間をかけることによって、見通しを持って作業に取り組むことができる。よって、回数を重ねるごとに作業に取り組むことで心理的な安定を得られる。また、同じ作業を繰り返すことによって、集中力を高め、継続する大切さを学ぶようにする。
- ② 1コマ75分間座って作業をすることは、このグループの生徒には課題であると思われる。したがって、作業の合間で身体を軽く動かしリフレッシュできるように、必要な毛糸を前に取りに行ったり、作品を取りに（または返しに）行ったり、最後に掃除をすることによって、身体を適度に動かすようにする。
- ③ 作業の始めと終わりの挨拶と出席確認、そして、作業ができたなら「できました」や、わからない時は「わかりません」「教えて下さい」などの報告や支援が必要なことを意思表示することによって、作業を通して指導者とのコミュニケーション力を高めたい。いずれ生徒が高等部卒業後に働くことを考えると、あいさつをしたり作業に関する報告をすることなどは大切なことなので、それを今のうちから習得し、必要な言葉を発したり、発することに課題がある場合には指導者の肩をトントンとたたくななどのコミュニケーション力を身につけさせるようにする。

9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・作業に集中して最後まで取り組んでいる。 ・友だちと協力しながら、すすんで片付けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛糸の配色を考えながら毛糸を選ぶことができる。 ・デザインを考えながら毛糸の方向を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛糸を上下交互に隣のマス目に正確に通すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の説明や注意事項を聞く。 ・毛糸を上下交互に通し隣のマス目に進んでいくという作業の一連の流れを理解している。

10. 単元の指導と評価の計画（全11時間）

次	時	学習内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
第一次	1	ひも通しとひも結びの練習	○		○	
第二次	2～5	コースターの製作	○	○	○	○
第三次	6	かごの装飾の説明、各自デザインを考える		○		
	7～11 (7:本時)	かごの装飾	○	○	○	○

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・毛糸を上下交互に通し、隣のマス目に進んでいくという作業の一連の流れを理解する。
- ・毛糸を上下交互に隣のマス目に正確に通していくことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・毛糸の配色を考えながら毛糸を選ぶことができる。
- ・デザインを考えながら毛糸の方向を工夫することができる。
- ・毛糸を上下交互に隣のマス目に正確に通することができる。
- ・毛糸を上下交互に通し隣のマス目に進んでいくという作業の一連の流れを理解している。
- ・友だちと協力しながら、すすんで片付けができる。

(3) 本時で扱う教材・教具

かご、毛糸（あらかじめ一定の長さに切っておく）、セロハンテープ、裁ちばさみ、見本のかご、ペン

(4) 生徒の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準・評価方法
10分 導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・着席、あいさつ、出欠とり。 ・前回のふりかえり 	<ul style="list-style-type: none"> ・輪番で本時の当番は前に行き、あいさつと出欠確認を行うよう促す。 ・前回の内容を思い出させる。 	
60分 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の作業の注意点と流れの説明を聞く。 ・配られたかごに名前を書く。 ・前回かごのデザインをした用紙を配る。 ・かごの装飾をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体ごと前を向き、本時の作業内容と作業の注意事項を聞くよう促す。 ・初めてでまだ慣れていないので、まずはゆっくり丁寧に取り組むよう心がけさせる。 ・毛糸が絡まないよう取る時に気をつけさせる。 ・みんなが気持ちよく使えるように前に置いてある毛糸や道具はきれいに使うことに気をつけさせる。 ・毛糸の先の片方にセロハンテープを巻くことを伝える。 ・前回描いたかごの装飾のイメージの紙を見ながら作業を進めさせる。 ・わからなくなったり困ったりしたら指導者に「わかりません」「教えて下さい」などと言葉で伝えさせるか、話すことに課題がある生徒には指導者 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛糸の配色を考えながら毛糸を選ぶことができる。 ・デザインを考えながら毛糸の方向を工夫することができる。 ・毛糸を上下交互に隣のマス

	<ul style="list-style-type: none"> ・各自できたところまで発表する。 ・あと片付け ・教室そうじ 	<p>の肩をトントンとたたいて合図するようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場で起立して、装飾したかごを発表させる。 ・グループごとにかごをまとめて前へ持ってこさせる。 ・輪番で、ほうきのグループは教室決められた場所へ向かって掃く。椅子のグループは椅子をテーブルに上げたり下ろしたりする。椅子の上げ下ろしで手をはさんだり椅子を足に落とさないように気をつけさせる。雑巾のグループはテーブルを拭く。 	<p>目に正確に通すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛糸を上下交互に通し隣のマス目に進んでいくという作業の一連の流れを理解している。 ・友だちと協力しながら、すすんで片付けができる。 ・友だちと協力しながらすすんでそうじができる。
10分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返り ・次回の予告 ・あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の作業の良かった点、改善点を伝えて、次の授業の意欲につながるようにする。 ・本時の当番は前に呼び、あいさつをするよう促す。 	

(6) 教室配置等 略

*備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略